

日本骨髄バンクの現状（2024年2月末現在）

※数値は速報値のため訂正する場合があります。

登録者数	1月	2月	現在数	累計数
ドナー	3,072	2,654	553,895	956,542
患者	183	187	1,652	68,392

<年代別ドナー登録者現在数>

約42%

10代	4,248人
*うち1月新規登録者は238人	
20代	92,679人
30代	136,241人
40代	214,203人
50代	106,524人

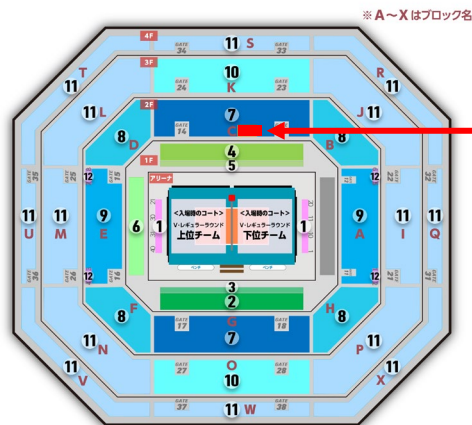
<2月区分別ドナー登録者数>

献血ルーム	862人
献血併行型集団登録会	1,702人
集団登録会	0人
その他	90人

採取数	1月	2月	累計数
骨髄	55	73	26,301
末梢血幹細胞	25	28	2,090
合計	80	101	28,391

2023年8月号から海外採取は含まず、国内の採取のみを掲載しています。

I. 2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 MENにて『ピースドナーシート』 第三弾が実施されます



ピースドナーシートはこちら！

日本骨髄バンクを長年ご支援くださっている一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ様のご協力により、2024年3月31日(日)有明コロシアムで行われる2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 MENファイナルに“ピースドナーシート”が設置されます。

“ピースドナーシート”は「どうすれば若者は骨髄バンクにドナー登録してくれるのだろう」という社会課題解決のため、広島県立黒瀬高校の生徒さんが考案され、2022年実施の『社会を変えるアイデアフェス～想像力が、いのちを救う。～』で審査員特別賞を受賞したアイデアです。

骨髄バンクに興味を持って下さった方を試合にご招待し、選手を応援しながら患者さんも応援できる企画となっております。応募メ切は3月15日(金)23:59迄となっております。詳細は下記ページよりご確認ください。

<https://www.jmdp.or.jp/special/peacedonorseat3.html>

2. アベマ倍速ニュースで骨髄バンクが取り上げられました

2月27日（火）放送のアベマ倍速ニュースで骨髄バンクが取り上げられました。

岡山県の私立おかやま山陽高等学校の生徒さんたちの取り組みや、過去に移植を受けた経験があり現在は骨髄バンクのユースアンバサダーとして活動中の齋木翔太さんのインタビュー、骨髄バンク事業を取り巻く現状や課題と認知向上への取り組みなどが紹介されています。

YouTubeで視聴できますので、ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=E3sQ61IQMqM&t=6s>

3. 読売巨人軍が春季キャンプで骨髄バンク支援 那覇でドナー登録会開催

2月18日（日）、読売巨人軍の那覇キャンプ・沖縄セルラースタジアム那覇で、骨髄バンクのPRとドナー登録会を行い、11名の方にドナー登録いただきました。3年ぶりとなった昨年に続いての開催で、準備から当日まで、読売巨人軍様、那覇市様、沖縄県赤十字センター様、地元沖縄のボランティアの皆様にご協力いただきました。

当日は特設ブースでのドナー登録会をはじめ、特設ステージでのPRや、スタジアム前広場での「スワブによるオンラインドナー登録」トライアル協力の呼びかけ等を実施することができました。ステージでのPRでは沖縄県の移植経験者・糸数美智子さんが体験を語り、ジャビット君やバンクの職員と共にドナー登録を呼びかけました。



4. 社会福祉法人聖隷福祉事業団での語りべ講演会とスワブのオンラインドナー登録会



2月16日（金）、骨髄バンクによる語りべ講演会とスワブのオンラインドナー登録会が静岡県浜松市の社会福祉法人 聖隷福祉事業団（以下、聖隷福祉事業団）で開催されました。

今回発起人となったのは、聖隷福祉事業団 総合企画室の山本伊織さん。新聞や電車の中吊り広告で若い世代のドナー登録者が減少していることを知り「何か、私たちにできることはないか」と骨髄バンク担当者に熱いメールが届いたのは、今年の9月。そこから様々な準備を経て、今回の開催に至りました。

当日の語りべ講演会では、俳優で移植経験者の樋口大悟さんを招き、午前と午後合わせて約40人の職員が参加してくださいました。「骨髄移植を受けられずに亡くなった義父を思い出した。この機会にドナー登録をしたい」「医療関係の仕事をしているが、骨髄移植についてはこれまであまり知らなかった」との職員の声に、骨髄バンクとしても語り部講演の重要性を改めて感じました。

また、講演後行われたスワブのオンライン登録会では7名の登録申し込みがありました。

山本さんからは「今後、聖隷福祉事業団での語りべ講演会とスワブのオンラインドナー登録会の開催回数を増やしていき、2人に1人しか移植ができない現状を変えていきたい」との心強い言葉を頂きました。



聖隷福祉事業団 総合企画室山本伊織さん

5. ドナー休暇制度導入、820企業・団体に

就業ドナーの方にとって提供しやすい環境を整備するため、「ドナー休暇制度」の導入を全国の企業や団体へ呼びかけております。

現在820の企業や団体、大学等が導入しています（当法人把握分、2024年3月15日現在）。

■導入リスト

www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/donorleave_02.pdf

既に制度を導入・運用（制度の名称は任意）して上記リストに未掲載の場合は、下記までご一報ください。申請に必要な「導入連絡書」（エクセルファイル）は下記に掲載しております。適宜ダウンロードしてご利用ください。

www.jmdp.or.jp/donation/donorsupport/donorleave.html

◇照会先： 広報渉外部 ドナー休暇制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）

6. ドナー助成制度導入、1021自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記の自治体で導入され、全国で1021自治体となりました（2024年3月15日現在、当法人把握分）。

助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

○東京都 東久留米市

https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/assistance/donor_municipality.pdf

7. 適合通知の送付方法が変わりました

2022年3月より開始した適合通知のSMS送付とWeb問診により、約9割のドナー候補者がオンラインで問診票に回答いただいております。コーディネート期間が短縮しました。

問診票回答のほとんどがオンラインからという現状を踏まえ、2024年3月12日(火)より、患者さんと適合したドナー候補者への適合通知方法を原則SMSのみに変更しました。

携帯電話番号の登録があるドナー候補者にはSMSで通知し、携帯電話番号の登録がない場合やSMSエラーとなった方には、登録住所宛に従来通り郵送で送付します。

さらに、ドナー候補者が最初にアクセスするWebページの改修を行い、利便性を高めました。

今後もドナーを取り巻く社会環境にあわせ、コーディネートの仕組みを改良して参ります。

（参考）SMSによるお知らせについて：

<https://www.jmdp.or.jp/information/detail/20230512172943.html>

8. 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の新規認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。これにより骨髄採取認定施設数は201施設、末梢血幹細胞採取認定施設数は142施設となりました。ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.jmdp.or.jp/donation/interview-facilities/>

○聖マリアンナ医科大学病院

○国際医療福祉大学成田病院